

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	東大演習林を学ぶ会 例会		
タイトル	川越藩番所跡をめぐる 清澄駐車場～今澄番所跡～半間茶屋跡往復～今澄～浅間山～道六神番所跡～一杯水林道～清澄駐車場		
実施日時	平成 30 年 2 月 18 日（日）10 時～15 時 30 分		
実施場所	鴨川市 東大演習林		
受講者		F I C 会員	11 名

活動の内容

今回の例会は「**「**」、演習林になる前の江戸時代におけるこの森と人との関わりを当時設置されていた番所跡をたどって偲ぼうという企画です。また、東大千葉演習林の象徴とも云える浅間山を巡るコースでもあります。「浅間山を踏破せずに演習林を語るなかれ」とも云えるコースです。すでに歩かれている方も多いのですが、今回は新規加入の方々含め初めての方が数名おられたのでタイムリーな企画となりました。

今日のコースについて IW さんから概略の説明を受けた後出発、郷台林道～今澄に向かいます。今澄スギ人工林のすぐ脇にある今澄番所跡に到着、ここからは IW さん以外歩いたことのない道を北に辿り、半間茶屋跡まで（約 600m）。この道は現在は演習林の作業道ですが、江戸時代には番所や茶屋まであったのですから人の往来もそこそこあったのでしょう。番所は主に川越藩が抜荷を防ぐために設けたもの、抜荷というと犯罪のイメージですが、里人達が焼いた炭を藩に安値で買い取られるのが不満で自分たちでもう少し良い値で売ろうとする当然の行為を取り締まったもの、江戸時代の里人の不平不満にも思いを馳せました。またこの道ではクロバイの木が多くみられます。白い花を沢山つける花期（4～5 月）にまた訪れたいものです。

再び今澄に戻り 160 年生の高齢スギ人工林を観察後、浅間山へ、さらに中ノ背歩道、長尾歩道を辿り、道六神番所（川越藩番所）跡を過ぎて一杯水林道へ抜けました。途中でコショウノキ、オニシバリなどの花を観察できましたが未だ森は冬の粧いです。一杯水林道も山野草の宝庫なのですがここも今の季節は何も観察できません、「春の時期にもう一度」と思いつつ清澄まで辿り、今日の「学ぶ会」を解散しました。



クロバイ



コショウノキ



今澄番所跡



浅間山山頂にて



道六神番所跡